



ウキクサの葉は、逆さにしずめても、葉を上にしてうくのはなぜ

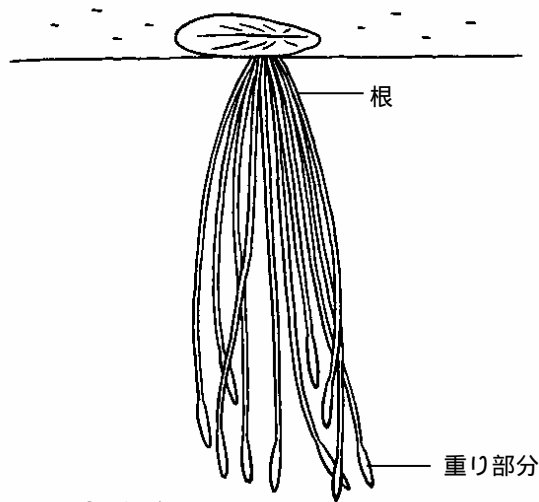
ウキクサは、うきと、重りをもっているから

ウキクサは、水の中におしこんでも、すぐういてきます。また、ウキクサの葉を水の中でつぶしてみると、あわが出てきます。葉の中に、空気が入っていて、うきぶくろのようになっているから、ウキクサは、いつも水面にういているのです。

ウキクサを水から出してみると、葉の根元に、長い長いひものような物が何本かついて、下にたれ下がっています。これは、ウキクサの根です。この根をよく観察すると、1本ずつの、根のいちばん先の方が、少しふくらんでいて、ほかの部分とちがいます。このふくらんだ所は、重りの役目をしていて、風や波でウキクサがゆすられても、ひっくり返らないようになっているのです。ですから、ウキクサを逆さにして水中にしずめても、根の重りと、葉のうく力で、葉が上になってういてくるのです。

ウキクサの便利なくみ

ウキクサの葉の表側は、水をはじく性質があり、裏側は、水にくっつきやすい性質がみられます。また、長い根は、川底の土の中にのびることはありません。根の皮を通して、まわりから、じかに水分を吸収しています。この根は、水中にたれ下がったまま、水の中のくいや植物のくきなどに引っかかって、ウキクサが流されてしまうのを防ぐ役目もしています。（監修・矢野 亮）



ウキクサ

